## 横浜市のモビリティの取組み

2019(令和元)年9月30日 横浜市温暖化対策統括本部





1 Zero Carbon Yokohama/SDGs未来都市·横浜横浜市地球温暖化対策実行計画

パリ協定(2015.12)



IPCC 1.5℃特別報告書(2018.10)



横浜市地球温暖化対策実行計画(2018.10改定) "Zero Carbon Yokohama" 2050年を見据えて 「温室効果ガス実質排出ゼロの実現」





1 Zero Carbon Yokohama/SDGs未来都市・横浜SDGs未来都市・横浜将来のビジョン

#### 環境を軸に、経済や文化芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現



















## 2 運輸部門のCO2排出

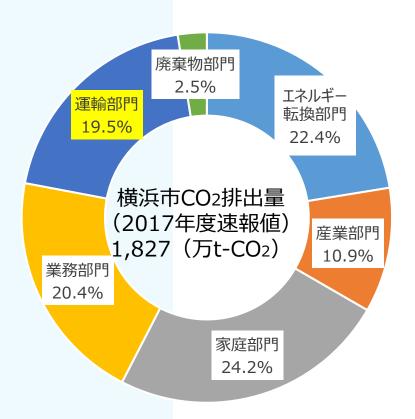


図1-1 横浜市のCO2排出量の部門別構成比

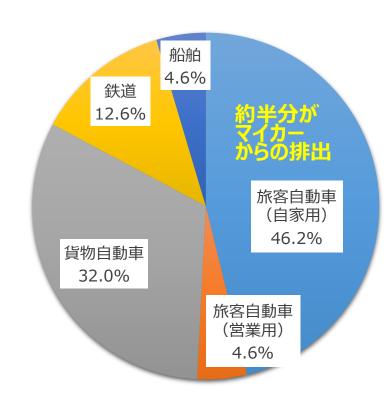


図1-2 横浜市の運輸部門における CO2排出量の種類別構成比











## 3 次世代自動車に関する計画

#### 横浜市地球温暖化対策実行計画(2018年策定)

・低炭素型次世代交通の普及促進 次世代自動車の普及促進のため、EV、FCV等の車両導入や 水素ステーション等インフラ整備の促進、公用車への導入を加速させると ともに、低炭素交通に関する取組等を推進します。

#### 横浜市中期4か年計画2018~2021(2018年策定)

- ・次世代自動車の普及促進
- → EV、FCV等の車両導入
- → 水素ステーション等インフラ設備の設置促進





## 4 次世代自動車 実績

市内の自動車登録台数(2019年3月時点)

	種類	台数 (台)			业人
<b>性</b> 規		2018.3	2019.3	増減	割合
①次世代自動車		6,073	6,756	683	0.5%
	PHV車	2,600	2,842	242	
	EV車	3,373	3,792	419	
	FCV車	100	122	22	
②低公害車		785,299	798,180	12,881	61.5%
	HV車	175,431	193,243	17,812	
	燃費基準達成車	608,947	604,168	<b>▲</b> 4,779	
	燃料代替車	921	769	<b>▲</b> 152	
<b>③従来車</b>		505,789	490,069	▲15,717	38.0%
	合計	1,297,158	1,295,005	▲2,153	100.0%



#### チョイモビ ヨコハマ

(超小型モビリティを使用したラウンドトリップ型カーシェアリング実証実験)

#### ライフスタイルの見直し

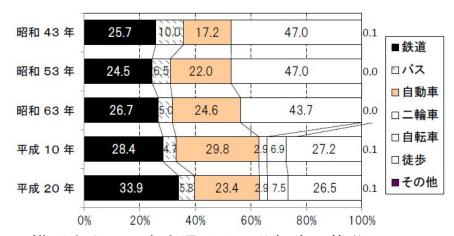
過度にマイカーに依存する生活スタイルからの脱却

- ・徒歩や自転車、バスや電車などの公共交通を中心とした移動
- ・車を所有する生活からシェアリングへの転換

#### チョイモビヨコハマの目的

- ・低炭素交通の推進
- ・移動手段の多様化による利便性の向上
- ・横浜観光の振興

11 11 11



横浜市内の代表交通手段別分担率の推移





#### チョイモビ ヨコハマ

(超小型モビリティを使用したラウンドトリップ型カーシェアリング実証実験)



#### 「超小型モビリティ」

- ・自動車よりもコンパクト
- ・省エネ・低炭素化に寄与するEV



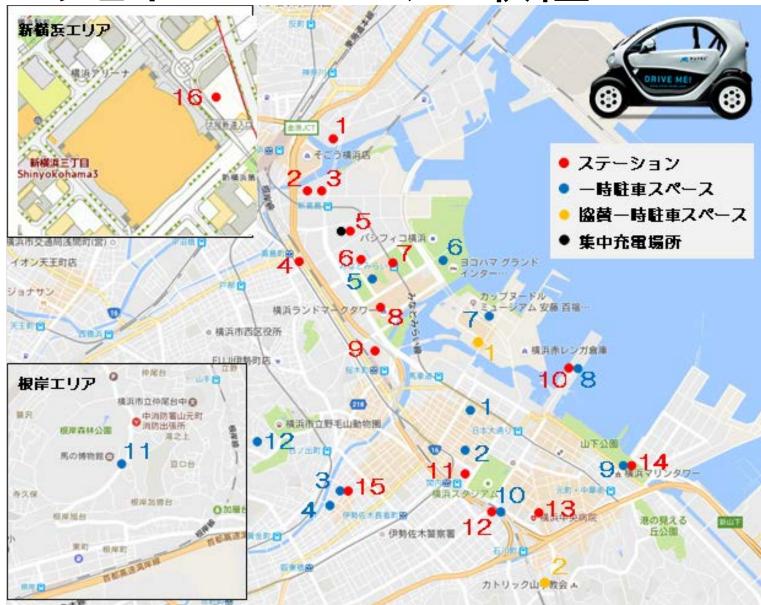




- ・事業主体:日産自動車、日産カーレンタルソリューションズ、横浜市
- ・期間:2017年3月~2021年3月(4年間)
- ・規模:車両40台(最大)、貸渡・返却ステーション24か所 (一時駐車枠21台分)
- ・会員数 : 3,755人( 2017年3月~ 2019年8月末現在)
- ·利用回数: 1,410回(2017年3月~2019年8月末現在)







#### 【利用状況】

- ・「超小型モビリティ」に興味を持って登録している人が多い。
- 観光利用の利用が半数以上を占めている。
- 「狭い道や坂道も走りやすく、静かで街中を走りやすい。」との意見有。

#### 【普及における課題】

- ・「超小型モビリティ」は法律上公道走行にまだ制限があり、販売できない
  - → 法整備がされなければ事業化は困難
- ・日本の法律上、路上での車両の貸し借りができない
  - → 駐車場所の確保が困難





## 6 ベイバイク (コミュニティサイクル事業)



#### 2019年8月現在

- ・登録者数 10万人を突破
- · 1日平均利用回数 約2,200回





◎主体:横浜市(実施主体)、㈱ドコモ・バイクシェア(運営主体)

◎実施期間:平成26年4月~令和4年3月(最大10年間まで延長)

◎地域: みなとみらい21地区及び関内地区を中心としたエリア

◎運用台数:約770台◎ポート数:85か所

◎利用料金:登録無料、利用料金最初の30分無料、超過30分ごと150円(税抜)





## 7 WHILLの取組(昨年度)

#### 【実施概要】

·実施日時:2019年2月15日(金)~17日(日) 10:00~18:00

15日のみ15:00~18:00

・主催:ヨコハマ未来モビリティショーケース推進協議会

・概要:WHILLの試乗及びレンタル実証実験を実施

(最大3時間 1000円(1時間以内は無料))

・対象エリア:みなとみらい21 中央地区

#### 【参加者数】

日時	試乗(人)	レンタル1時間 (人)	レンタル3時間 (人)※有料	日毎合計
2月15日(金)	3 3	6	0	3 9
2月16日(土)	114	8	0	1 2 2
2月17日(日)	6 7	1 0	3	8 0
合計。	2 1 4	2 4	3	2 4 1











## 7 WHILLの取組(今年度)

# WHLL シェアリング 実証実験 START

2019年10月中旬開始予定



0.00

SDGs未来都市·横浜



無料





利用モデル: WHILL Model C www.whill.jp





主催: ヨコハマ未来モビリティショーケース推進協議会 お問合せ: 横浜市温暖化対策統括本部 TEL045-671-4107 みなとみらい21地区において、パーソナルモビリティの導入により、誰にとってもシームレスな移動を実現し、回遊性や賑わい、新たな価値の創出を目指します。





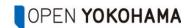












## 7 WHILLの取組(今年度)

#### 【対象エリア】

みなとみらい21 中央地区 新港地区



## 8 横浜市都市交通計画 (平成30年8月改定)



#### 基本方針1 市民生活の質向上につながる交通政策

- 政策目標1 誰もが移動しやすい地域交通の実現
- 政策目標2 バリアフリーの一層の推進
- 政策目標3 マイカー交通から公共交通等への転換促進

#### 基本方針2 都市の成長を支え魅力を高める交通政策

- 政策目標4 移動の円滑化に向けた体系的な交通ネットワークの形成
- 政策目標5 横浜の競争力強化に資する広域交通ネットワークの形成
- 政策目標6 都心臨海部を楽しく快適に回遊できる多様な交通手段の提供

#### 基本方針3 持続可能で安全・安心な都市づくりに寄与する交通政策

- 政策目標7 環境と調和した交通施策の推進
- 政策目標8 交通インフラの強靱化と長寿命化
- 政策目標9 日常生活を安全・安心に移動できる交通環境の整備

### 8 横浜市都市交通計画



基本方針 1 市民生活の質の向上につながる交通政策 政策目標 1 誰もが移動しやすい地域交通の実現

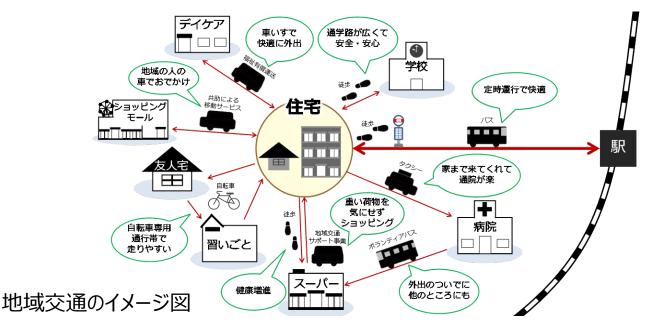
誰もが安心して便利に利用でき、外出機会の増加につながる地域の移動環境・交通サービスを創出します。

<施策の方向1-1> 路線バスの維持・充実

<施策の方向1-2> タクシーサービスの活性化

**<施策の方向1-3> 多様な主体による新たな交通サービス実現** 

〈施策の方向1-4〉 歩行者空間・自転車の利用環境の整備



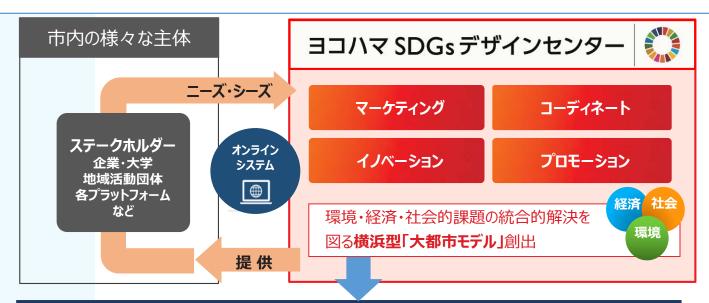
## 横浜SDG s デザインセンター

### ヨコハマ SDGs デザインセンター

0.00 0.00



環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る、横浜型「大都市モデル」の創出に向け、多様 な主体との連携により、自らも課題解決に取組む中間支援組織







## オンデマンドバス実証実験の取組

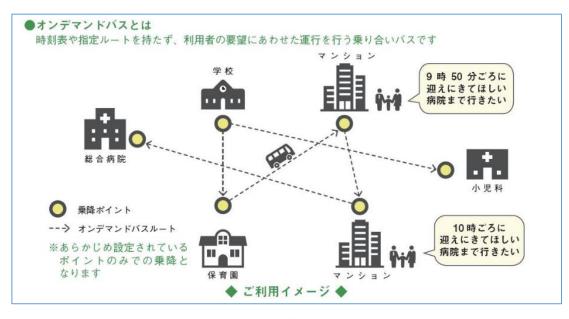


#### ョコハマ SDGs デザインセンター ( パイロットプロジェクト ( 試行的取組)

- 「住みたい」「住み続けたい」まちの実現に向け、郊外住宅団地内にICTを活用した オンデマンドバスを導入
- 子育て世代・高齢者などが移動しやすい快適なモビリティ環境の形成を図る。











## オンデマンドバス実証実験の取組

#### 【実験概要】

第2回実証実験結果 (※第1回 2019年3月20日~26日)					
実施期間	2019年7月11日(木)~8月9日(金) ※7月27、28日運休				
運行時間	7:00~20:00				
走行エリア	若葉台地区及び近隣施設 乗降ポイント 94地点(地区内外)				
運賃	無料				
利用条件	187名の登録・iPhone、Android(Androidは7/29~)所有者・若葉台地区に在住・在勤・在学				
利用件数	利用件数 388件 (のべ851名)				
ご意見	・運行時間帯や所要時間について満足 →80%以上 ・今後サービス化されたら利用したい →98% ・乗降ポイント(バス停)がわかりづらいなどのアプリ改善要望あり				

- 時間別では、8時、10時、15時~16時、18時台での利用が多く、乗降場所では地区セン ターや保育園などでの利用が多く、買物や保育園送迎の利用が多かった
- 結果を踏まえ、運行方法やシステム改善と並行して、有償サービス実施に向けた料金徴取の仕 組みや施設連携、運営スキームの検討等を進める













## ご清聴ありがとうございました



